

数学

◆ 第1学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1章 正負の数	4章 比例と反比例	P.8～P.164
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
移行用補助教材	整数の性質		P.2～P.5
学校図書	1章 正の数・負の数	4章 比例と反比例	P.12～P.189 ◆P.168の一部 (おうぎ形に ついての表 記)を除く
	2章 文字式	5章 平面図形	
	3章 1次方程式		
移行用補助教材	素因数分解		P.2～P.5
教育出版	1章 正の数、負の数	4章 比例と反比例	P.9～P.191 ◆P.171(おう ぎ形について の表記)を除 く
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
移行用補助教材	素因数分解		P.2～P.4
啓林館	1章 正の数・負の数	4章 変化と対応	P.12～P.157
	2章 文字の式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
移行用補助教材	素数の積で表すこと		P.2～P.3
数研出版	第1章 正の数と負の数	第4章 比例と反比例	P.12～P.161
	第2章 文字と式	第5章 平面図形	
	第3章 1次方程式		
移行用補助教材	素因数分解		P.4～P.5, P.8
日本文教出版	1章 正の数と負の数	4章 比例と反比例	P.10～P.187 ◆P.168の一部 (おうぎ形に ついての表 記)を除く
	2章 文字と式	5章 平面図形	
	3章 方程式		
移行用補助教材	素因数分解		P.2～P.3

※第1・2学年とも上記以外のページにある資料(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

理科(第2学年のみ)

・理科はA問題、B問題の2種類あり、各学校がどちらかを選択します。

◆ A問題 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P.10～P.83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P.84～P.153
	単元4 電気の世界	P.224～P.243
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P.7～P.80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P.81～P.158
	単元3 電流とその利用	P.162～P.187
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P.5～P.64
	A-4 電流とそのはたらき	P.68～P.94
	B-3 動物の世界	P.141～P.216
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P.2～P.63
	物質 化学変化と原子・分子	P.118～P.181
	エネルギー 電流の性質とその利用	P.184～P.206

※A・B問題とも上記以外のページにある資料(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

◆ B問題 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P.10～P.83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P.84～P.153
	単元3 天気とその変化	P.156～P.173
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P.7～P.80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P.81～P.158
	単元4 気象のしくみと天気の変化	P.234～P.260
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P.5～P.64
	B-3 動物の世界	P.141～P.216
	B-4 天気とその変化	P.220～P.243
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P.2～P.63
	地球 地球の大気と天気の変化	P.66～P.91
	物質 化学変化と原子・分子	P.118～P.181

英語

◆ 第1学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Hi, English! Unit0～9 Presentation2	P.4～P.105
開隆堂	Let's Start PROGRAM1～9 Power-up⑨Reading	P.6～P.97
学校図書	Pre-lesson Let's Start Lesson1～8	P.4～P.106
三省堂	Get Ready Lesson1～8	P.6～P.105
教育出版	Springboard Lesson1～7	P.2～P.96

◇ 第1学年 《取り扱う言語材料》

- 単文、重文
- 肯定及び否定の平叙文(現在形)
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞(現在形)で始まるもの、助動詞(do, does)で始まるもの及び疑問詞(how, what, where, who, whose)で始まるもの
- 名詞の単数形及び複数形
- 文構造
 - [主語+動詞]
 - [主語+動詞+補語]のうち、主語+be動詞+{名詞 代名詞 形容詞}
 - [主語+動詞+目的語]のうち、主語+動詞+{名詞 代名詞}
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形
- 音声に関するもの

★第1・2学年とも出題は《出題範囲を取り扱うページ》から行います。ただし、文法事項については、《取り扱う言語材料》に記載しているもののみとします。

※第1・2学年とも上記以外のページにある資料(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

◆ 第2学年 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit0～6	P.4～P.89
開隆堂	Classroom English PROGRAM1～8	P.6～P.79
学校図書	Pre-lesson Lesson1～Check It Out⑧	P.6～P.99
三省堂	Lesson1～7	P.6～P.91
教育出版	Lesson1～7	P.4～P.88

◇ 第2学年 《取り扱う言語材料》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, mayなど)で始まるもの、orを含むもの及び疑問詞(how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの
- 文構造
 - [主語+動詞]
 - [主語+動詞+補語]のうち、主語+be動詞+{名詞 代名詞 形容詞}, 主語+be動詞以外の動詞+{名詞 形容詞}
 - [主語+動詞+目的語]のうち、主語+動詞+{名詞 代名詞 動名詞 to不定詞 thatで始まる節}
 - [主語+動詞+間接目的語+直接目的語]のうち、主語+動詞+間接目的語+{名詞 代名詞}
 - There + be動詞+～
- 代名詞
 - 人称、指示、疑問、数量を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現
- to不定詞
- 動名詞
- have to, don't have to
- 音声に関するもの

日々の学習や苦手分野の復習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のウェブサイト に復習教材として掲載していますので、ご活用ください。

☆ 復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/h30_3_fukushu.html

大阪府公立高等学校入学者選抜調査書評定の府内統一ルール(1・2年生)について

① 府教育委員会は、それぞれの学年の2学期末までの府内公立中学校の評定の状況と、1月に実施したチャレンジテストの結果を使って、評定ごとにチャレンジテストの点数分布を整理した「評定の範囲」を定めます。

【例】平成30年度の2年生国語の「評定の範囲」

	評定5	評定4	評定3	評定2	評定1
国語	100点～57点	89点～42点	78点～24点	63点～5点	55点～0点

② 各中学校は、自校の評定ごとのチャレンジテストの得点分布と、府教育委員会が設定した「評定の範囲」を比べ、適切な評価が行われているか検証します。「評定の範囲」と自校の得点分布の間に差異があり、「評定の範囲」に収まらなかった場合は、当該教科の評価の方法の見直しを行った上で、評定をつけます。

※事業の一部(調査問題の配送・回収、採点・集計等)は、大阪府教育委員会が民間機関に委託して実施します。